

産地として選ばれる“なのはな米”1等米比率3年連続90%以上を目指して

今年も高品質で美味しい“なのはな米”を生産するには苗づくりが重要です。
コシヒカリは**5月15日を中心とした田植え**とし、それに合わせて計画的に育苗作業を行い
老化苗にならないようにしましょう。

1. コシヒカリの育苗計画

消毒	浸種	播種	田植え	出穂期
4/7 (金)	4/8 (土)	4/18 (火)	5/10 (水)	8/3頃
4/15 (土)	4/16 (日)	4/25 (火)	5/15 (月)	8/5頃
4/21 (金)	4/22 (土)	4/30 (日)	5/20 (土)	8/8頃

育苗日数(播種から田植えまで)は**20日程度**としましょう。
健全で若い苗は、初期分げつが発生しやすいよ!



2. 育苗スケジュールと作業内容

※細菌性病害対策として、育苗期間を通じて目安温度より高温にならないよう注意《換気の徹底を》

月日	作業	温度管理	作業管理のポイント																		
4/15	比重選 種子消毒	水温 10℃以上を確保 (12℃が最適)	<p>①比重選で種籾を厳選。 ~病気や発芽不揃いをしっかり予防~ 硫安による発芽障害を防ぐため、比重選した種籾は水洗いを行う。</p> <p>②種子消毒は必ず化学農薬で消毒する。 モミガードC水和剤200倍液で24時間浸漬</p> <p>種子消毒ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種籾10kgに対し、水20ℓ、薬剤100gの割合とする。 ・水和剤は溶けにくいので、水は15~20℃のぬるま湯で必要量を準備し、よくかき混ぜる。 ・24時間浸漬中は1~2回袋を動かす。 ・消毒液の使用は1回限り。 <p>○比重選液の作り方の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種籾</th> <th>比重</th> <th>硫安 (水10ℓに)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>もち</td> <td>1.08</td> <td>1.5kg</td> </tr> <tr> <td>うるち</td> <td>1.13</td> <td>2.5kg</td> </tr> </tbody> </table>	種籾	比重	硫安 (水10ℓに)	もち	1.08	1.5kg	うるち	1.13	2.5kg									
種籾	比重	硫安 (水10ℓに)																			
もち	1.08	1.5kg																			
うるち	1.13	2.5kg																			
4/16	浸種	水温 10~15℃を確保 水温 浸種日数 10℃ → 10~12日間 15℃ → 7~8日間	<p>③浸種の開始を早めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水温×日数=積算温度100~120℃程度を目安とする。 ※浸種期間の後半になったら必ず芽の動きを確認し、動きがあれば浸種を終了する。 ・10~15℃の水温と十分な水量を確保する。催芽を揃えるには、浸種を開始した初日の水温確保が重要です。 ・2日に1回は水を交換し、酸素不足を防ぐ。 ・水温が上がり過ぎないように日光が直接当たらない場所(日かげ等)に設置する。 																		
4/24	催芽	育苗器温度 28~30℃で 20~24時間	<p>④芽の長さをこまめにチェック。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均一に催芽するために1日2~3回袋を反転させる。 ・均一に播種するために種籾の水切り(脱水)は十分に行う。(籾が手に付かない程度にまで陰干しを行う。) <p>○催芽の目安 ハト胸~2mmまで</p>																		
4/25	播種 出芽	育苗器温度 30℃で2~3日	<p>⑤播種量はうす播きで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水量は、床土の表面に水がにじみ出る程度とする。 ・厚播き、ムラ播きに注意する。 <p>○乾籾 120gの目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>乾籾</th> <th>芽出し籾容量</th> <th>水切り後重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120g</td> <td>200cc</td> <td>150g</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥育苗器の温度をこまめにチェック。 事前にサーモスタットの温度計測が正確なのか育苗器の温度設定が正しいか確認する。</p>	乾籾	芽出し籾容量	水切り後重量	120g	200cc	150g												
乾籾	芽出し籾容量	水切り後重量																			
120g	200cc	150g																			
4/28	搬出 緑化	ハウス内温度 昼: 25℃以下 夜: 10℃以上 葉焼け注意!	<p>⑦芽の長さが1cmに揃ったら搬出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出時には、覆土を落ち着かせるため、必ずかん水。 ・第1葉が展開したら速やかに被覆資材をはずす。 ・育苗ハウスのビニールを新しくした場合、光の透過率が高いので注意する。 <p>低温が予想される場合は搬出を見送るか、搬出時のかん水はせず被覆資材で保温に努める。</p>																		
4/30	硬化	ハウス内温度 昼: 25℃以下 夜: 10℃以上	<p>⑧かん水は朝にたっぷりを行い、日中は床土の乾きに応じて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床土の種類によって水持ちや乾き方が異なるので、床土を変更した場合は注意。 ・田植えの7~10日前からは昼夜ともに換気し、十分外気に慣らす。 <p>○育苗期間中の病害対策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象病害</th> <th>使用薬剤名</th> <th>希釈倍率</th> <th>散布量</th> <th>防除時期</th> <th>使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白カビ、青カビ</td> <td>ダコレート水和剤</td> <td>500倍</td> <td>500cc/箱</td> <td>播種14日後まで</td> <td>2回以内</td> </tr> <tr> <td>ムレ苗、苗立枯病</td> <td>タチガレエースM液剤</td> <td>500倍</td> <td>500cc/箱</td> <td>発芽後</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>かん水に用水を用いる場合は、ムレ苗に注意!</p>	対象病害	使用薬剤名	希釈倍率	散布量	防除時期	使用回数	白カビ、青カビ	ダコレート水和剤	500倍	500cc/箱	播種14日後まで	2回以内	ムレ苗、苗立枯病	タチガレエースM液剤	500倍	500cc/箱	発芽後	1回
対象病害	使用薬剤名	希釈倍率	散布量	防除時期	使用回数																
白カビ、青カビ	ダコレート水和剤	500倍	500cc/箱	播種14日後まで	2回以内																
ムレ苗、苗立枯病	タチガレエースM液剤	500倍	500cc/箱	発芽後	1回																
5/15	田植え																				

春の土づくり

昨秋は雨が多く、ほ場の乾きが悪かったため、土づくりが不十分なほ場が多く見られます。土づくりは継続することで効果が現われます。確実に「春の土づくり」を実施しましょう。

1. 珪酸質資材及び有機物の施用

※昨秋施用していないほ場は、必ず施用しましょう。

- ・珪酸には登熟歩合の向上の効果があります（図1）。耕起前に珪酸質資材を施用しましょう（表1）。
- ・稲体の活力維持を図る方法として、発酵鶏糞などの有機物を積極的に施用して地力の維持や向上に努めましょう（表2）。

表1 主な珪酸質資材施用の目安

資材名	施用量(10a 当たり)
珪酸石灰	200kg
シリカロマン	100kg
シンキョーライトP	60kg

表2 堆肥施用の目安（春施用）

堆肥名	散布量(10a 当たり)
発酵鶏糞	75～100kg

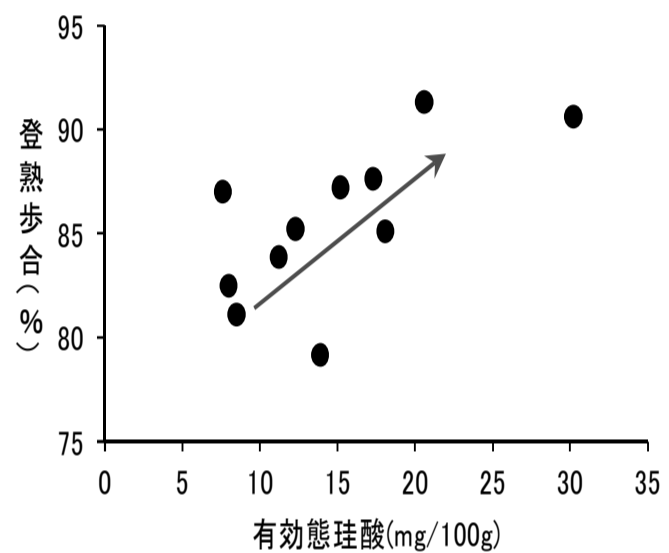


図1 有効態珪酸と登熟歩合の関係
注) H26 土壤分析結果

2. 深耕

- ・作土層を深くすると、根圏が広がり、深く伸びた根が収穫まで稲の活力を維持し、収量・品質が向上します。
- ・耕起は、トラクターの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くして、作土の深さを15cm以上確保しましょう。

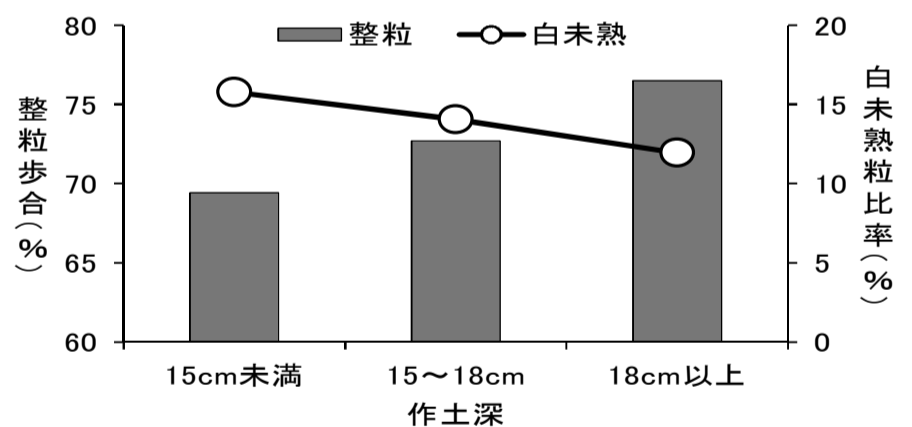


図2 作土深が玄米品質に及ぼす影響
注) H25、26 県総点検運動ほ

春の農作業安全運動実施中

—4月1日～5月31日—

- ・トラクターに乗る場合は、必ずヘルメットとシートベルトを着用しましょう。
- ・刈払機で絡まった草を取るときは、必ずエンジンを止めてから行いましょう。

作業前に安全対策を確認!

なのはな農協では、皆様に電子メールによる営農情報の提供を行っています。

情報提供内容

- ・栽培管理情報
- ・緊急的な気象情報と災害防止対策
- ・緊急的な管理情報
- ・その他必要と思われる情報

【提供情報例】

水稻の生育は、草丈が長めとなっております。コシヒカリの出穂期は、5月15日田植えで8月5日と予想されています。今後の管理は、基肥一発肥料を施用しているほ場でも出穂7日前（7月30日頃）に葉色が3.8以下の場合には追肥しましょう。

営農情報提供サービスへの登録はこちらから



http://argo-navi.net/ja/mb_login.php